



事務事業名	産後ケア事業	事務事業No.	10202001025	所属課	健康推進課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
産後の母子に対して心身のケアや育児サポート等きめ細かい支援を行い、安心して子育てができる支援体制を確保するため産後ケア事業を創設（H27年度開始）。少子化社会対策大綱において、R6年度末までの全国展開を目指す。当市ではH31年4月～開始。R3年4月～母子保健法の一部を改正する法律が施行され、産後ケア事業の実施が自治体の努力義務となる。事業を利用しやすい環境整備のため、R5年度より産後ケアを必要とする全ての産婦に対して、利用者負担の減免支援が導入され、R6年度より開始予定。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
妊娠中から周知することで、サポート体制に安心するという声や出産後の生活で心身の不調が出現した際に、産後ケアを利用できたことで育児不安や負担が軽減したとの声が聞かれた。また利用料金の助成もありがたい。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 子育て支援施策の一端であり、産婦の育児不安の軽減は虐待防止にも結びつく。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 母子保健法、児童福祉法、少子化社会対策大綱の一環として市で行う必要がある。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 市民の利便性の向上や、産後の保護者の手続き等の負担軽減のため、産後ケア施設の拡充や申請方法の評価・修正の検討が必要である。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 育児不安や負担が増えることで、一貫した母子の健康管理・保持増進ができない恐れがある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似の事業がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 必要最低限の事業費のため削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内に住所がある、産後1年未満の全産婦を対象としているので適正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	利用者数は年々増加しており、リピーターが多い。母子手帳交付時、後期妊婦面談時等妊娠中より周知すると共に、電子申請を開始、産後の保護者の負担軽減に努めた。R6年度より、希望者全員が利用でき、自己負担金2500円の減免支援が導入予定である。各施設の事業内容や利用者の感想などわかりやすく周知し、より利用しやすい環境整備が必要と考える。																								
②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																										
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																										
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																										
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 （終了・廃止・休止の場合は記入不要）																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 市内に産科医療機関や産後ケア施設がなく、利用者の利便性向上や負担軽減のため、産後ケア施設（アウトリーチ型含む）の拡充を検討する必要がある。また、R6年度より希望者全員が利用できることや自己負担金の減免の開始に伴い、母子手帳交付時や妊娠後期面談等妊娠中から事業を周知することで、子育ての孤立化や産後うつ予防につなげ、安心して子育てができる環境整備に努めたい。		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下			×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上			○																						
	維持			×																						
	低下			×																						
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ②																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>